

## ギニア月報(2020年5月)

主な出来事

### 【内政】

●15日、コンデ大統領は、新型コロナウイルスの流行に対する措置として、既に発出されているギニア全土における非常事態宣言を一カ月間延長する旨発表。

●26日、シセ氏がCENI委員長に就任。

### 【経済(経済協力含む)】

●20日、中国人270名がボケの鉄道建設工事従事のためにギニア入り。

## 1 内政

- ・ 5日、シセ氏(Kabiné Cissé)が独立選挙管理委員会(CENI)委員長代理に就任。
- ・ 7日、FNDC(護憲国民戦線)は、FNDCのメンバーが逮捕され、政権がコロナを理由にFNDCのメンバーを逮捕していることを非難する旨のコミュニケを発表。
- ・ 11日、コナクリ市内ドンカ病院にあるエボラ治療センター(Centre de Traitement Ebola)の職員組合は、現場が疲弊しており、新型コロナウイルス対策用の防護器具及び熟練した人材が不足しているため、迅速な検査体制構築と待遇改善を求める書簡をフォファナ首相に送付。
- ・ 12日、コヤ周辺とドゥブレカで検問所における治安当局の対応に不満の住民と治安当局が衝突し、6名が死亡、多数の負傷者が発生。
- ・ 12日、カムサールで電力供給不足に対し住民が抗議。デモにより1名死亡、複数負傷。同日夜、コンデ大統領がシラ・エネルギー大臣を罷免。
- ・ 13日、コンテ元大統領夫人が死去。
- ・ 15日、コンデ大統領は、新型コロナウイルスの流行に対する措置として、既に発出されているギニア全土における非常事態宣言を一カ月間延長する旨発表。
- ・ 19日、コロナで死去した元CENI委員の空席に大統領が14日に指名したママディ・カバ氏のCENI入りに対し野党が反発し最高裁判所に提訴。
- ・ 19日、政府は、ギニア教員研究者自由労働組合(SLECG)のスト参加者に対する給料差し止め措置を解除。
- ・ 21日、ラマ保健大臣が新型コロナウイルス対策として新たな入国制限措置を発表。
- ・ 21日、コンデ大統領は、水道公社(SEG)総裁にルア氏を指名。
- ・ 26日、シセ氏がCENI(独立選挙管理委員会)長に就任。
- ・ 27日、カンカンの刑事局が3月20日の森林ギニアにおける騒擾にFNDCが関与していると言及。
- ・ 27日、新憲法について、国民投票の前後で一部の条文が修正・削除により差異がある旨弁護士が指摘。

## 2 経済(経済協力含む)

- ・ 11日, EUは, スイスの国際 NGO 人間の大地(Terre des Hommes)を通じて, 250万ユーロ規模の新型コロナウイルス対策のプロジェクトをコナクリ, キンディア, マムー, ピタ, クンダラ, ンゼレコレ, ベイラで実施する旨発表。
- ・ 20日, 中国人270名がボケの鉄道建設工事従事のためにギニア入り。SMB社(ボケ鉱山会社)は, ギニア南東部のシマンドウ鉱山から鉄鉱石を輸送するため, ベイラーボケ間の鉄道を建設する予定。本件鉄道建設は SMB 社による大型投資の一環であり, 昨年11月に SMB 社とギニア政府の間で同鉱山の開発契約が締結。
- ・ 26日, フランスとギニアは教育分野の支援のため, 2,000万ユーロを2020年から2029年までの長期的な教育分野への支援, 750万ユーロを教育分野の能力向上のための支援, 合計2,750万ユーロの支援を目的とする合意文書に署名。
- ・ 28日, ロシアの支援による中部ギニアにおける養殖開発プロジェクト開始式が開催。同案件は UNDP 経由で3,135,725ドルを供与限度とし実施期間は3年間の予定。日本が高地ギニアで実施している補正予算による養殖案件に続くもの。

(了)